資料－4

子吉川水系河川整備計画素案の構成

1章 計画の基本理念

ハード

①安全・安心の川づくり　治水　利水

水害や渇水被害の少ない、安全で安心できる子吉川を目指します

ソフト

②豊かな自然を次世代に引き継ぐ川づくり　利水　環境

豊かで優れた自然環境や景観を次の世代に引き継ぐ川づくりを目指します

ハート

③癒しの川づくり　環境

だれもが楽しむことのできる癒しの川づくりを目指します

ハード　ソフト　ハート

④地域の活性化に寄与する川づくり　治水　利水　環境

水や川を活かした地域産業の振興など、地域活性化に寄与する川づくりを目指します

2章 概要

子吉川の概要

3章 現状と課題

利水

子吉川では、慢性的な水不足に悩まされている。

＜課題＞
・農業用水、都市用水の安定取水

治水

流域はたびたび洪水被害に見舞われており、整備、管理が十分であるとはいえない。

＜課題＞
・堤防整備
・堤防の安全性確保
・内水対策
・河道管理
・河川管理の高度化
・危機管理対策
・震災対応
・火山噴火対応

環境

子吉川は、川の生物にとって条件のよい良好な生息・生育環境にあり、水質環境も良好である。今後もこれを保全していく必要がある。

＜課題＞
・外来種の増加
・良好な水質の保全
・良好な景観の保全
・利活用の活性化
・住民参加と地域連携

4章 目標

利水
- ◎流水の正常な機能の維持 正常流量11m3/aの確保（宮内地点）
- ◎河川の適正な利用

治水
- ◎安全性の確保 戦後最大洪水である昭和22年7月洪水と同規模の洪水が発生しても、床上浸水等の重大な家屋浸水被害を防止するとともに、水田等農地についても浸水被害の軽減に努める
- ◎危機管理体制の強化

環境
- ◎動植物の生息・生育環境の保全
- ◎水質の保全 BOD現況水質の確保
- ◎景観の保全
- ◎人と河川とのふれあいの場の創出

5章 目標達成に向けた取り組み

	かたち（ハード：テクノロジー）	しくみ（ソフト：システム）	こころ（ハート：意識）
利水	鳥海ダムの建設と管理運用	渇水調整 取水管理 水質事故対策 情報の把握と提供	水の有効利用の推進
治水	鳥海ダムの建設と管理運用 堤防整備 堤防の強化 内水対策の実施 水防活動拠点の整備 河川管理施設の管理と高度化 河道掘削 河道内樹木の管理 多自然型川づくり	情報の把握と提供 水防活動への支援強化 ハザードマップの作成支援	防災、危機管理意識の高揚、啓発
環境	河道掘削 河道内樹木の管理 多自然型川づくり 景観に配慮した河川空間の創出 河川利用の場としての整備 水辺の魅力を引き出す川づくり	外来種対策 環境教育の支援 不法投棄対策 河川利用の促進	河川愛護の啓発

プロセス

河川環境のモニタリング

住民参加による地域と連携した川づくり

河川整備の重点的、効果的、効率的な実施

※清水浩志郎：「高齢者・障害者のための都市・交通計画」（山海堂）Ｐ１４４加筆修正